

西大手門と元太鼓櫓

北・南・西の 3 つの大手門が、本丸北西部の西出丸へと続いています。西にある門は、3 つの門の中で最も格式の高い門でした。細川家初の熊本藩主、細川忠利は、1632 年に藩主の座に就く際、この門から入城し、駕籠から降りて深くお辞儀をしました。築城当時の門と櫓は、明治時代（1868-1912）に政府軍が城を占領した際に取り壊されました。2003 年には木造で復元されましたが、2016 年の地震で被害を受けています。現在は保管されており、再建を待っています。西大手門のすぐ西側にある元太鼓櫓の名前は、そこで太鼓が保管されていた可能性を示しています。この櫓は解体され、現在は再建待ちの状態です。